



中濃記者会同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和5年6月23日（金）岐阜県発表資料		
担当所属	担当者	電話番号
森林研究所	茂木 靖和	直通 0575-33-2585
	臼田 寿生	FAX 0575-33-2584

県森林研究所「研究成果発表会」を開催します（参加者募集）

県森林研究所では、健全で豊かな森林づくりと、林業および木材産業の振興を推進するための研究開発に取り組んでいます。

このたび、当所の研究成果を森林・林業関係者をはじめ広く県民の皆様にお伝えする研究成果発表会を下記のとおり開催しますので、参加者を募集いたします。

記

1 開催日時および方法

日時：令和5年7月14日（金）13：15～16：10（12：45より受付開始）

場所：わかくさ・プラザ 多目的ホール（関市若草通2丁目1番地）※別紙1「会場案内図」参照

2 プログラム（発表の内容は別紙2のとおり） ※ 時間は前後する場合があります

13:15～13:20 開会・あいさつ

13:20～13:45 発表1 壊れにくい森林作業道のために排水処理で留意することは？

専門研究員 和多田 友宏

13:45～14:10 発表2 コウヨウザンの材料としての性質を調べる

森林資源部長 土肥 基生

14:10～14:35 発表3 酢酸がキノコの菌糸伸長に及ぼす影響

主任専門研究員 水谷 和人

14:35～14:45 休憩

14:45～15:10 発表4 ツリーシェルターはいつ取り外すのがよいか？

主任専門研究員 大橋 章博

15:10～15:35 発表5 ぎふ森林情報WebMAPを活用した山地災害リスクの把握方法

主任専門研究員 臼田 寿生

15:35～16:10 長野県林業総合センターと岐阜県森林研究所の研究成果の紹介（ポスター発表）

16:10 閉会

3 定員

150人程度（参加無料）

4 申し込み方法

所属団体（会社名等）・氏名・電話番号を明記の上、電子メールまたはFAXにより、7月7日（金）までに以下の申し込み先へ送付してください（書式は自由です）。

5 申し込み・問い合わせ先

岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1） 担当：茂木、臼田

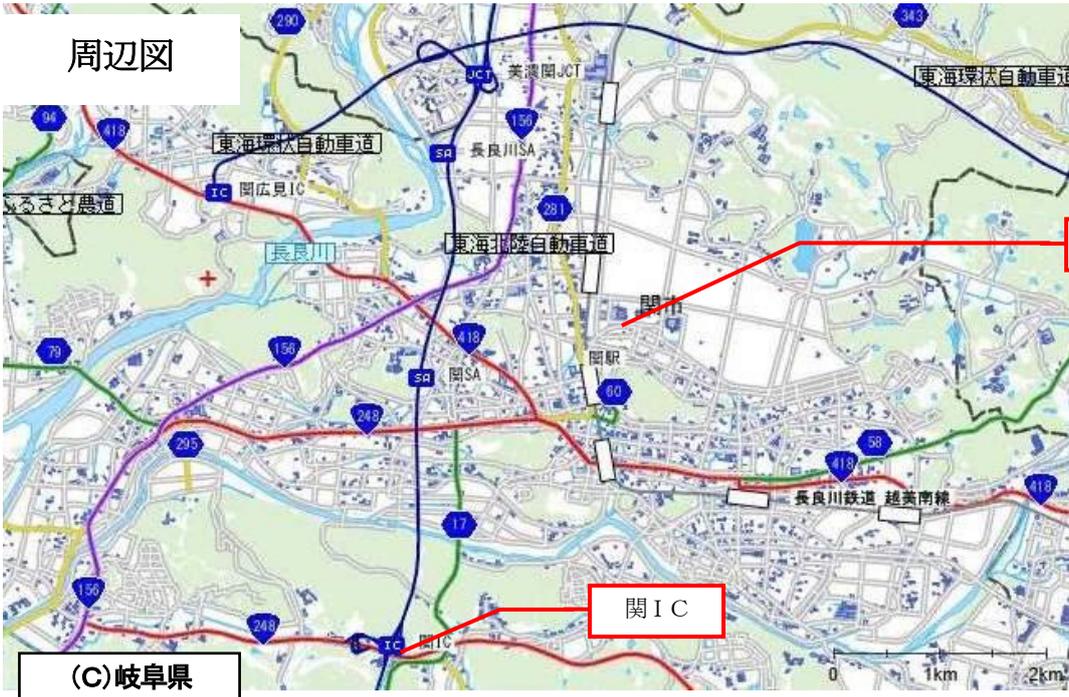
電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584

電子メール：info@forest.rd.pref.gifu.jp

森林研究所ホームページ (<http://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/>) でもご案内しています。

【会場案内図】

別紙1



【交通のご案内】

- ・東海北陸自動車道「関IC」から車で15～20分
- ・長良川鉄道「関市役所前駅」から徒歩10分
- ・岐阜バス 路線バス「わかくさプラザ」バス停 徒歩1分
- ・岐阜バス 高速バス「関市役所・わかくさプラザ」バス停 徒歩1分
- ・関シティバス「わかくさ・プラザ」バス停 徒歩1分
- ・長良川鉄道「関駅」、関シテイターミナルからタクシー5分

【発表内容】

○口頭発表

発表1 壊れにくい森林作業道のために排水処理で留意することは？

森林資源部 専門研究員 和多田 友宏

森林資源の循環利用に必要な森林作業道は、土構造を基本とし作設費用を抑えつつ、繰り返しの使用に耐え得る丈夫なものであることが求められます。壊れにくい森林作業道を作設するためには、水の処理が非常に重要です。そこで、森林作業道の排水処理において留意すべきポイントについて、当所の調査結果を含めてご紹介します。

キーワード：森林作業道、土構造、排水処理、分散排水

発表2 コウヨウザンの材料としての性質を調べる

森林資源部 部長 土肥 基生

コウヨウザンは、早生樹としての特徴などから近年関心を集めており、県内でも試験植栽や成長量調査が開始されています。しかし、木材利用に焦点をあてた試験研究は全国的にも僅かで、建築材料として利用する上での知見は殆ど公表されていません。当所では昨年度からコウヨウザンをテーマとした課題を立ち上げており、これまでに明らかになった知見をお伝えします。

キーワード：コウヨウザン、早生樹、材質、強度、未成熟材

発表3 酢酸がキノコの菌糸伸長に及ぼす影響

森林資源部 主任専門研究員 水谷 和人

シイタケの菌床栽培では、菌床を高圧滅菌すると酢酸が発生します。酢酸はシイタケの菌糸伸長を阻害することが知られていますが、シイタケ以外のキノコに対する酢酸の影響については明らかになっていません。そこで、菌根菌を含めた20属32種のキノコの菌糸伸長に対する酢酸の影響を調査しました。

キーワード：酢酸、キノコ、菌糸伸長、影響

発表4 ツリーシェルターはいつ取り外すのがよいか？

森林環境部 主任専門研究員 大橋 章博

ニホンジカによる植栽木の食害防止のためにツリーシェルターを設置した場合、いずれは取り外す必要があります。しかし、取り外す時期については明らかにされていません。そこで、3種類のツリーシェルターを設置したスギ植栽地における植栽後7年間の生育過程から、ツリーシェルターの取り外し時期について検討しました。

キーワード：ツリーシェルター、取り外し、胸高直径、形状比、スギ

発表5 ぎふ森林情報WebMAPを活用した山地災害リスクの把握方法

森林資源部 主任専門研究員 臼田 寿生

近年、気候変動の影響による大雨が増加傾向にあり、斜面崩壊などの山地災害の発生リスクが高まっています。山地災害による被害を最小限にするためには、山地災害が発生しやすい場所を的確に把握し、大雨の前に必要な対策を講じておくことが求められます。本発表では当所のウェブサイトで公開している「ぎふ森林情報WebMAP」を活用した山地災害リスクの把握方法について紹介します。

キーワード：山地災害、斜面崩壊、マップ、GIS

○ポスター発表

チューブ型ツリーシェルターを施工したスギで発生した先枯れについて	主任研究員 片桐 奈々
岐阜県内に植栽したコウヨウザンの初期成長	研究員 宇敷 京介
晩秋に植栽したヒノキ・コンテナ苗の活着と気象条件	専門研究員 渡邊 仁志
溶出期間700日肥料を元肥に用いた1年生ヒノキ・コンテナ苗の植栽1年目の成長	主任研究員 茂木 靖和
森林空中写真を用いた広葉樹林からの距離区分図の作成 ～天然更新の適地を把握するために～	専門研究員 久田 善純
“ぎふ森林情報WebMAP”公開中	技術課長補佐 古川 邦明
弱減圧乾燥中の蒸煮の有無によるスギ心去り平角の強度比較	研究員 田中 健斗